

小型ハードル走

小型ハードル走は、自己に合ったリズムで小型ハードルを調子よく走り越える楽しさや喜びに触れることができる運動です。本単元例は、単元前半はいろいろなインターバルの距離や小型ハードルの高さのレーンを走り越える時間、単元後半は自己に合ったレーンを選んで競走や記録への挑戦をする時間を設定することで、小型ハードルをいろいろなリズムで走り越えることと自己に合った一定のリズムで走り越えることに取り組むことができる授業を展開するようにしています。

単元の目標

- (1) 小型ハードル走の行い方を知るとともに、小型ハードルを調子よく走り越えることができるようにする。
- (2) 自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動や競走の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- (3) 小型ハードル走に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

指導と評価の計画（7 時間）

時 間		1	2	3
ね ら い		学習の見通しをもつ	小型ハードル走の行い方を知り、いろいろなリズムでの小型ハードル走をすることを楽しむ	
学 習 活 動		オリエンテーション 1 集合、挨拶、健康観察をする 2 単元の学習の見通しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ○学習のきまりを知る。 3 本時のねらいを知り、目標を立てる 4 場や用具の準備をする ○場や用具の準備と片付けの仕方を知る。 5 準備運動、主運動につながる運動をする ○準備運動、主運動につながる運動の行い方を知る。 6 小型ハードル走をする ○いろいろなレーンで小型ハードル走をする。	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらい 4 準備運動、主運動につながる運動をする 5 いろいろなリズムでの小型ハードル走をする ○小型ハードル走の行い方を知る。 ○いろいろなレーンで小型ハードル走をする。 ○課題の解決のために考えたことを伝える。	
			6 競走の規則を工夫して、いろいろなリズムでの小型ハードル走をする ○小型ハードル走の競走の規則を知る。 ○競走の規則を選んで、自己やチームで競走をする。 ○課題の解決のために考えたことを伝える。	
		7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ 8 整理運動、場や用具の片付けをする		
評 価 の 重 点	知識・技能		① 観察・学習カード	
	思考・判断・表現			
	主体的に学習に取り組む態度	⑥ 観察・学習カード	③ 観察・学習カード	④ 観察・学習カード

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①小型ハードル走の行い方について、言ったり書いたりしている。 ②小型ハードルを自己に合ったリズムで走り越えることができる。	①自己の課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。 ②競走の規則や記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ③友達のよい動きや変化を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。	①小型ハードル走に進んで取り組もうとしている。 ②きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ③用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ④勝敗を受け入れようとしている。 ⑤友達の考えを認めようとしている。 ⑥場の危険物を取り除いているとともに、用具の安全を確かめている。

4	5	6	7
動きを身に付けるための活動や競走の仕方を工夫して、一定のリズムでの小型ハードル走で、競走や記録に挑戦することを楽しむ			学習のまとめをする
知り、目標を立てる 3 場や用具の準備をする			
5 一定のリズムでの小型ハードル走をする ○用具が一定の間隔に並べられたレーンで、走り越えたい用具とインターバルを選んで練習をする。 ○30m小型ハードル走の競走と計測をする。 ○課題の解決のために考えたことを伝える。			学習のまとめ 5 小型ハードル走大会をする ○記録への挑戦の仕方を選んで、30 m小型ハードル走の自己の記録への挑戦をする。 ○走るレーンで使用する用具と並べ方を選んで、チーム対抗で競走をする。 6 単元を振り返り、学習のまとめをする 7 整理運動、場や用具の片付けをする 8 集合、健康観察、挨拶をする
6 動きを身に付けるための練習をする ○自己の能力に適した用具とインターバルのレーンを選んで、練習をする。 ○課題の解決のために考えたことを伝える。			
9 集合、健康観察、挨拶をする			
			② 観察
① 観察・学習カード	② 観察・学習カード	③ 観察・学習カード	
② 観察・学習カード		⑤ 観察・学習カード	① 観察・学習カード

本時の目標と展開①（1／7時間）

本時の目標

- (1) 小型ハードル走の行い方を知ることができるようにする。
(2) 友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えることができるようにする。
(3) 場の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめることができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
5分	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 単元の学習の見通しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ○チームを確認する。 ○学習のきまりを知る。	● 掲示物を活用するなどしながら、分かりやすく説明する。 ● どのチームも同じくらいの走力になるように配慮して、六人を基本としたチームを事前に決めておく。
	学習のきまりの例 ・運動前には、場の安全を確かめましょう。 ・レーンを横切るときは、走者を確認しましょう。 ・用具は正しく使いましょう。	・友達と仲よく励まし合いましょう。 ・友達の考えを認めましょう。 ・競走の勝敗を受け入れましょう。
15分	3 本時のねらいを知り、目標を立てる 小型ハードル走の学習の進め方を知り、学習の見通しをもとう ○本時のねらいを知り、自己の目標を立てる。	● 学習カードを配り、使い方を説明する。
	4 場や用具の準備をする ○場や用具の準備と片付けの役割分担を理解する。 ○チームで協力して、準備をする。 場や用具の準備と片付けのきまりの例 ・運動をする場所に危険物がないか確かめ、見付けたら取り除きましょう。 ・運動に使う用具などは、友達と一緒に、決まった場所から安全を確かめて運びましょう。 ・安全に運動ができるように、服装などが整っているか、確かめましょう。	● 役割分担や安全な準備と片付けの仕方を説明する。 ● 安全に気を配っている様子を取り上げて、称賛する。
5分	5 準備運動、主運動につながる運動をする ○準備運動、主運動につながる運動の行い方を理解する。 ○学級全体やチームで準備運動、主運動につながる運動をする。	● けがの防止のために適切な準備運動の行い方について、実際に動いて示しながら説明する。
	準備運動の例 ○かけ足 … チームで並んで、無理のない速さで走る。 ○徒手での運動 … 肩、腕、手首、腿、膝、ふくらはぎ、足首などをほぐす運動をチームで行う。 主運動につながる運動の例 ○いろいろな走り方で10m走 スキップ、大またで走るなどで、体を大きく使って走る。 ○輪を跳んで渡る スタートラインからゴールラインまで、決めた色の輪の中を跳んでいく。	・いろいろな幅で置かれた輪を選んで進む。 ・けが防止のため、輪は厚みのないものを使用する。

20分	6 小型ハードル走をする ○小型ハードル走の場の設定について知る。 小型ハードルで使用する用具の例 ・市販のミニハードル ・ペットボトルを用いた用具 ・輪やフープ（厚みのないもの） ・段ボール	● 小型ハードル走の場の設定について、場や用具を示したり実際に動いて示したりしながら説明する。
	小型ハードル走の場の設定の例 ○使用する用具や並べ方が違うレーンをつくり、いろいろなレーンで走って楽しむようにする。 ○いろいろなレーンで小型ハードル走をする。 ○チームで用具や並べ方を変えたレーンをつくって、小型ハードル走をする。	● 安全に気を配っている様子を取り上げて、称賛する。 ◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ⑥場や用具の安全を確かめている。 ➡ 場や用具の準備をする際や、小型ハードル走をする際に、場の危険物や用具の安全を確かめている姿を評価する。（観察・学習カード） ◎安全を確かめることに意欲的でない児童への配慮の例 ➡ 走る前には周りを見る、これから走る場所を見るなどの声をかけたり、チームの友達と一緒に安全を確かめて、安全であることを伝え合ったりするなどの配慮をする。
5分	7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ 本時の振り返り ・小型ハードル走をして、気付いたことや考えたことを書きましょう。 ・安全を確かめることについて、気付いたことや考えたことを書きましょう。 ・単元の学習で身に付けたいことや目指したい記録など、自己の目標を書きましょう。	
	8 整理運動、場や用具の片付けをする 9 集合、健康観察、挨拶をする	● 振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気付きや考えのよさを取り上げて、称賛する。 ● 整理運動の行い方について、実際に動いて示しながら説明するとともに、けががないかなどを確認する。

本時の目標と展開②（2／7時間）

本時の目標

- (1) 小型ハードル走の行い方を知ることができるようにする。
- (2) 自己の課題を見付け、その課題の解決のための活動を選ぶことができるようにする。
- (3) 用具の準備や片付けを友達と一緒にすることができるようにする。

本時の展開

時 間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらいを知り、目標を立てる	
	小型ハードル走の行い方を知り、いろいろなリズムでの小型ハードル走をしよう ○本時のねらいを理解して、自己の目標を立てる。 3 場や用具の準備をする ○チームで協力して、準備をする。	●学習カードを配り、立てた目標を記入するように伝える。 ●場や用具の準備を友達と一緒にしようとしている様子を取り上げて、称賛する。 ◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ③用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ➡ 使用する用具などの準備や片付けを友達と一緒にしようとしている姿を評価する。(観察・学習カード) ◎用具の準備や片付けを友達と一緒にすることに意欲的でない児童への配慮の例 ➡ 個別に関わり、準備や片付けの行い方を説明しながら一緒に行うことで、準備や片付けが短時間で効率的にできることを実感できるようにするなどの配慮をする。 4 準備運動、主運動につながる運動をする ○学級全体やチームで準備運動、主運動につながる運動をする。
10分	5 いろいろなリズムでの小型ハードル走をする ○いろいろなレーンで小型ハードル走をする。	●自己の能力に適した用具を並べたレーンから始め、慣れてきたらいろいろなレーンに挑戦するように伝える。
10分	小型ハードル走の場の設定の例 ○だんだん用具が高くなるように並べる	どのような並べ方が走りやすいか、いろいろなレーンに挑戦して比べましょう。
	○狭い間隔で並べる ○いろいろな間隔で並べる	
	○課題の解決のために考えたことを伝える。	●考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。

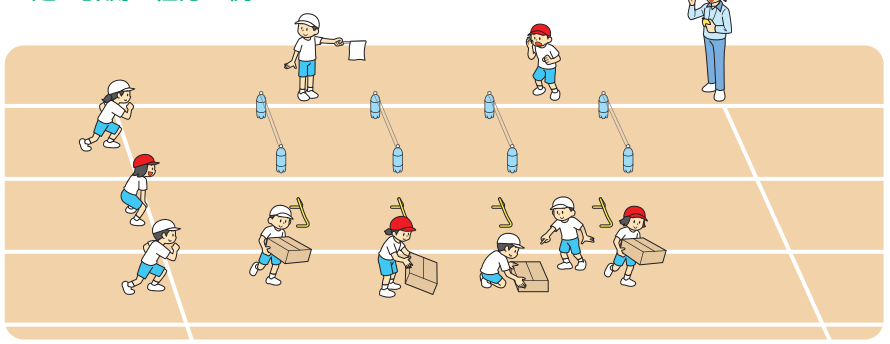
20分	6 競走の規則を工夫して、いろいろなリズムでの小型ハードル走をする ○小型ハードル走の競走の規則を知る。	●小型ハードル走の競走の規則について、学習資料やICT機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。
	小型ハードル走の競走の仕方の例 ○使用する用具を選んで競走を楽しむ ・競走をする友達と相談して、30 mのレーンに並べる4つの用具を選び、自己の能力に適したインターバルで用具を並べて競走をする。 ・走る能力に差がある友達と競走をする場合は、選ぶ用具や並べる数をそれぞれで決めて競走をする。	
5分	○チーム対抗で競走を楽しむ ・相手チームと相談して、30 mのレーンに並べる4つの用具を選び、チームの適したインターバルで用具を並べ、リレーをして競走をする。 ・走る友達に適した用具の並べ方に変えながら1人ずつ順番に競走をして、勝敗の数でチームの勝敗を競う。	○競走の規則を選んで、自己やチームで競走をする。 ○課題の解決のために考えたことを伝える。
	7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ 本時の振り返り ・小型ハードル走の行い方について、知ったことを書きましよう。 ・いろいろなリズムでの小型ハードル走をして、気付いたことや考えたことを書きましよう。 ・用具の準備や片付けを友達と一緒にすることについて、気付いたことや考えたことを書きましよう。	●楽しく競走をすることができる規則を選んでいることを取り上げて、称賛する。 ●考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。
	○振り返りを発表して、友達に伝える。	●振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気付きや考えのよさを取り上げて、称賛する。
	8 整理運動、場や用具の片付けをする 9 集合、健康観察、挨拶をする	◆学習評価◆ 知識・技能 ①小型ハードル走の行い方について、言ったり書いたりしている。 ➡ 小型ハードルを調子よく走り越えるといった小型ハードル走の行い方について、発表したり学習カードに記入したりしていることを評価する。(観察・学習カード) ◎ハードル走の行い方を理解することが苦手な児童への配慮の例 ➡ 個別に関わり、小型ハードル走の行い方のポイントについて対話をしながら確認をするなどの配慮をする。 ●適切な整理運動を行うように伝えるとともに、けががないかなどを確認する。

本時の目標と展開③（4／7時間）

本時の目標

- (1) 小型ハードルを自己に合ったリズムで走り越えることができるようにする。
- (2) 自己の課題を見付け、その課題の解決のための活動を選ぶことができるようにする。
- (3) きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合うことができるようにする。

本時の展開

時 間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらいを知り、目標を立てる	
	一定のリズムでの小型ハードル走で、競走や自己の記録への挑戦をしよう	
	○本時のねらいを知り、自己の目標を立てる。	●学習カードを配り、立てた目標を記入するように伝える。
	3 場や用具の準備をする ○チームで協力して、準備をする。	●安全な準備の仕方を確認する。
	4 準備運動、主運動につながる運動をする ○学級全体やチームで準備運動、主運動につながる運動をする。	●けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。
15分	5 一定のリズムでの小型ハードル走をする ○小型ハードル走の計測の仕方を知る。	●小型ハードル走の計測の仕方を説明する。
	・二人で競走をして計測をするので、一緒に走る友達を決めておきましょう。 ・走り越えたい用具とインターバルを選んで走るので、並び替える際はチームで協力しましょう。 ・計測をしていないときは、走っている友達の応援をしましょう。 ・計測した記録は、学習カードに記入しましょう。	
	○用具が一定の間隔に並べられたレーンで、走り越えたい用具とインターバルを選んで、30 m小型ハードル走の練習をする。(一人1～2回)	●計測は教師が行い、スタート合図は児童が手分けをして行う。 2レーンを計測し、その間に他のレーンは用具を並べ替えるなどの行い方を工夫する。
	小型ハードル走の計測の仕方の例	
		
	○30 m小型ハードル走の競走と計測をする。(一人1回)	●仲よく励まし合っている様子を取り上げて、称賛する。
	◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ②きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。	
	➡ 競走や計測の順番を守り、走っている友達を応援するなど、誰とでも仲よく励まし合おうとしている姿を評価する。(観察・学習カード)	
	◎誰とでも仲よく励まし合うことに意欲的でない児童への配慮の例 ➡ 個別に関わり、なぜきまりを守ったり、誰とでも仲よく励まし合うことが大切なのか、その意味を理解できるように伝えるなどの配慮をする。	
	○課題の解決のために考えたことを伝える。	●考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。

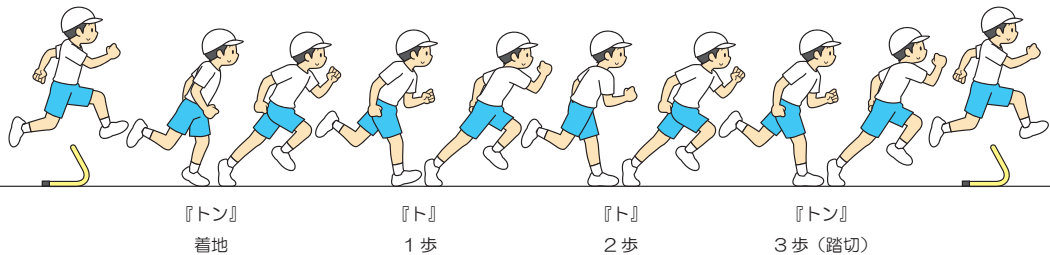
6 動きを身に付けるための練習をする

- 一定のリズムでの小型ハードル走の行い方を知る。

- 一定のリズムでの小型ハードル走の行い方について、学習資料やICT機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。

一定のリズムでの小型ハードル走の行い方の例

最後まで調子よく走り越えるために、いつも同じほうの足で踏み切るようにしましょう。
そのためには、インターバルを3歩または5歩で走るリズムを身に付けるようにしましょう。

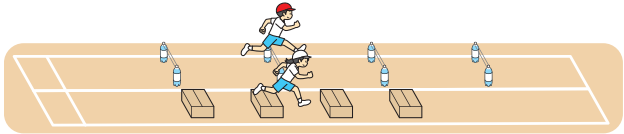
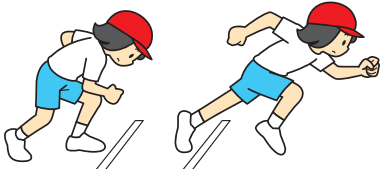


- 自己の能力に適した用具とインターバルのレーンを選んで、練習をする。

◎一定のリズムで小型ハードルを走り越えることが苦手な児童への配慮の例

- ➡ 1台目を走り越える際に踏み切る足が合わない児童には、スタートの姿勢を工夫するなどの配慮をする。

- ➡ インターバルを一定のリズムで走り越えることが苦手な児童には、選んだ用具によって並べる間隔を工夫するなどの配慮する。



- ・構えた左右の足の前後を逆にして試す。

- ・早く走り越えることができるようになったら、インターバルの間隔を広くするように工夫する。

- 課題に応じた練習の場や段階を選んでいることを取り上げて、称賛する。

◆学習評価◆ 思考・判断・表現

- ①自己の課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。

- ➡ 自己の課題を見付け、課題の解決のための活動を選んでいる姿を評価する。(観察・学習カード)

◎課題の解決のための活動を選ぶことが苦手な児童への配慮の例

- ➡ 個別に関わり、見付けた課題を解決しやすい練習や用具、インターバルを選ぶようにするなどの配慮をする。

- 課題の解決のために考えたことを伝える。

- 考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。

7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ

本時の振り返り

- ・小型ハードル走の記録と、選んだ競走や記録への挑戦の仕方を書きましょう。
・一定のリズムでの小型ハードル走で、見付けた課題と課題解決のために選んだ活動を書きましょう。
・きまりを守り仲よく励まし合うことについて、気付いたことや考えたことを書きましょう。

- 振り返りを発表して、友達に伝える。

- 振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気付きや考えのよさを取り上げて、称賛する。

8 整理運動、場や用具の片付けをする

- 適切な整理運動を行うように伝えるとともに、けががないかなどを確認する。

9 集合、健康観察、挨拶をする

本時の目標と展開④（7／7時間）

本時の目標

- (1) 小型ハードルを自己に合ったリズムで走り越えることができるようにする。
- (2) 友達のよい動きや変化を見付けたり考えたりしたことを友達に伝えることができるようにする。
- (3) 小型ハードル走に進んで取り組むことができるようにする。

本時の展開

時 間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらいを知り、目標を立てる	
	小型ハードル走大会で競走や記録への挑戦をして、学習のまとめをしよう	
	○本時のねらいを知り、自己の目標を立てる。 3 場や用具の準備をする ○チームで協力して、準備をする。 4 準備運動、主運動につながる運動をする ○学級全体やチームで準備運動、主運動につながる運動をする。	●学習カードを配り、立てた目標を記入するように伝える。 ●安全な準備の仕方を確認する。 ●けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。
25分	5 小型ハードル走大会をする ○小型ハードル走大会の行い方を知る。	●小型ハードル走大会の行い方を説明する。
	小型ハードル走大会の行い方やきまりの例 ・30 m小型ハードル走を2回走ります。自己に適した用具とインターバルのレーンを選んで走って、最高記録を目指しましょう。 ・チーム対抗戦では、使用する用具や並べ方をチームで決めたレーンで競走を楽しみましょう。 ・全員が学習の成果を発揮して走ることができるように、全力で応援しましょう。	
	○自己に適した用具とインターバルのレーンを選んで、30 m小型ハードル走の練習をする。	●計測は教師、スタートの合図は児童が手分けをして行う。 ●進んで取り組もうとしている様子を取り上げて、称賛する。
	○記録への挑戦の仕方を選んで、30 m小型ハードル走の自己の記録への挑戦をする。（一人2回）	◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ①小型ハードル走に進んで取り組もうとしている。 ➡ 小型ハードル走の競走や、課題の解決のための活動などに進んで取り組もうとしている姿を評価する。（観察）
	○競走をする相手チームを決める。 ○走るレーンで使用する用具と並べ方を選んで、チーム対抗で競走をする。	◆学習評価◆ 知識・技能 ②小型ハードルを自己に合ったリズムで走り越えることができる。 ➡ 自己に合ったリズムで小型ハードルを走り越えることができるかどうかを評価する。（観察） ●誰とでも励まし合おうとしている様子を取り上げて、称賛する。
10分	6 単元を振り返り、学習のまとめをする	
	単元の学習の振り返り ・小型ハードル走大会の結果を書きましょう。 ・単元の学習の自己やチームの目標で、達成したことを書きましょう。 ・学習したことで、今後の学習や日常生活の中で取り組んでいきたいことを書きましょう。	
	○振り返りを発表して、友達に伝える。	●振り返りを学習カードに記入するように伝えとともに、気付きや考えのよさを取り上げて、称賛する。 ●適切な整理運動を行うように伝えとともに、けががないかなどを確認する。
	7 整理運動、場や用具の片付けをする	
	8 集合、健康観察、挨拶をする	

2学年間にわたって取り扱う場合

【第3学年における指導と評価の計画（例）】

時 間		1	2	3	4	5	6	7
ね ら い		学習の見通しをもつ	小型ハードル走の行い方を知り、いろいろなリズムでの小型ハードル走をすることを楽しむ		動きを身に付けるための活動や競走の仕方を工夫して楽しむ			学習のまとめをする
学 習 活 動		オリエンテーション ○学習の見通しをもつ ・学習の進め方 ・学習のきまり ○小型ハードル走 いろいろなインターバルのレーンで小型ハードル走をする	○いろいろなリズムでの小型ハードル走をする ・いろいろなインターバルの距離でいろいろな高さの小型ハードルが並べられたレーン进行 ・チームでいろいろなリズムのレーンをつくって走ったり、他のチームが作ったレーン走ったりする		○競走や練習の仕方を工夫して、いろいろなリズムでの小型ハードル走をする ・競走のレーンや規則を選んで競走をする 走り越えやすい小型ハードルの高さや並べ方を選んで競走をしたり、チームの対抗で競走をしたりする ・動きを身に付けるための練習をする 自己の課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んで練習をする			学習のまとめ ○小型ハードル走大会 ・レーンを選んで競走をする ・チーム対抗で競走をする ○学習のまとめをする
評価の重点	知識・技能		① 観察・学習カード					② 観察
	思考・判断・表現				① 観察・学習カード	② 観察・学習カード		
	主体的に学習に取り組む態度	⑥ 観察・学習カード		③ 観察・学習カード			① 観察・学習カード	

【低学年「走の運動遊び」との円滑な接続を図るための工夫（例）】

- 「インターバルの距離や小型ハードルの高さに応じたいろいろなリズムで走り越える」ために
低学年では、走の運動遊びの中で、いろいろな間隔に並べられた低い障害物を走り越えることを楽しみました。中学年では、走り越える用具を、高さがある小型ハードルに替えて、その高さに応じたいろいろなリズムで走り越すことができるようにします。
そのため中学年のはじめは、ゴムを張った小型ハードルや段ボールを用いた小型ハードルなど、あまり高さがなく不安感をもたずに走り越すことができる用具を準備してレーンに並べて、インターバルの距離やそれぞれの小型ハードルの高さに応じたいろいろなリズムで走り越えることができるような活動をするようにしましょう。

（例）いろいろな高さの小型ハードルが並べられたレーンで小型ハードル走をする
・ペットボトル2本の間にゴムを張った用具、ペットボトルを横に連結した用具、段ボールで作成した用具など、足などが当たることに不安感をもたずに走り越えることができる用具を並べる。
・高さがある用具を走り越えることが苦手の児童には、輪や線などの高さが低い障害物を並べたレーンで、並べ方に合わせたリズムで走り越えるようにするなどの配慮をする。

【第3学年において重点を置いて指導する内容（例）】

- 知識及び技能
小型ハードル走の行い方を知るとともに、いろいろなリズムでの小型ハードル走ができるようにしましょう。そのためには、いろいろなインターバルの距離でいろいろな高さの小型ハードルが並べられたレーンを試し、自己に適したレーンを見付けて繰り返し取り組むことができるようにしましょう。
- 思考力、判断力、表現力等
自己の能力に適した高さの小型ハードルを選んだり、インターバルの距離を工夫したりすることができるようにしましょう。また、友達と競走したりチーム対抗で競走したりする際に、使用する小型ハードルやその並べ方などで規則を工夫して競走を楽しむことができるようにしましょう。
- 学びに向かう力、人間性等
いろいろな小型ハードルを並べたレーンで運動をするため、使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にすることができるようにしましょう。また、その際、小型ハードルをする場所の危険物を取り除くとともに用具の安全を確かめることができるようにしましょう。